

令和5年度第6回教育委員会(9月27日開催)
 ①諸般報告
 ②令和5年度要保護・準要保護の認定について
 ※第7回教育委員会(10月31日開催)については次号でお知らせします。
 教育委員会はどなたでも傍聴できますので、教育委員会事務局までお気軽にお問い合わせ
 してください。(☎29-17036)

～郷土史つづり～

文責
 郷土史マスター
 川内 つづり



その83「開拓者、依田勉三」

私たち土の会は、郷土史伝承活動を始めた2008年から、開拓時の写真を探し始めました。苫小牧、札幌、小樽、帯広、函館などの博物館や図書館を訪ね歩きました。ある日、帯広百年記念館を訪ねた時のことです。一枚の写真に衝撃を受けました。写真の下に「依田勉三、決意の朝」と書かれていました。依田勉三(1853～1925)とは、静岡県伊豆の豪農依田一族の次男で、帯広開拓の祖と言われる人物です。写真では、ボロボロのゴザの上にボロボロの服を着て、欠けているような茶碗を前に箸を持って、どこか一点を見つめて座っていました。それまで、私は北海道各地を開拓する先人たちの苦勞を、ある程度の想像はしていました。しかし、この一枚の写真には、粗末な食事でひたすら大自然と戦う過酷な日々が映し出されていました。胸が熱くなって涙が溢れました。最近になって、依田勉三の事が書かれている本を読んで知ったのですが、なんとその一枚の写真は、30歳の勉三が北海道に出発する前に、船を待つ横浜の写真館で撮影されたのでした。勉三はわざわざその姿に着替え、ゴザなども持ち込み「たとえこの様な姿になろうとも、開拓を成功させる！」という勉三の決意の一枚であったのです。

出発前の明治14、15年と勉三は現地を視察し、帯広の入植を決意します。そして『晩成社』を結成して、明治16年春、13戸27名と共に帯広に入植します。北海道は明治8年頃から屯田兵の移住が始まっていましたが、帯広は屯田兵が入っていない手つかずの未開の地でした。そして本州には無い厳しい冬があります。近くに住むアイヌの知恵に助けられる事もあったようです。開拓は大木を切り、その根を掘り、土を耕し、種をまく、すべて人力のみから始まりました。ひたすら働き続け、作物に芽が出て実った頃でした、十勝野から発生したトノサマバッタの大群が襲来し、イモ以外すべて食い尽くされる被害が起きます。(バッタの大量発生は明治13年から明治17年、胆振、札幌方面にも被害が及びました。)その後、干ばつ、長雨と低温による凶作、度重なる困難で『晩成社』からは多くの脱落者が出ました。しかし、勉三の開拓への情熱は変わりません。現在の大樹町で酪農を進め、幕別村には農場、そしてバター製造、練乳工場、缶詰工場を創業するなど様々な事業に着手します。しかしどれも実績が伴わない結果になりました。失敗を恐れず挑戦し続けた勉三だったからこそ、『十勝開拓の父』と呼ばれる所以なのでしょう。大正14年、中風に倒れ、73歳の生涯を閉じました。勉三最後の言葉は「晩成社にはなにも残っておらん。しかし…十勝野は…」涙で言葉は途切れます。そうですとも、勉三さん、あなたはやり遂げました。十勝野は立派に拓けたのです。今の十勝は、日本を代表する食料供給基地となっていますよ。

今日は、私たちの町を開拓した先人たちの苦勞に、思いを馳せてみようかなあ。

安平町図書室 新着図書のご案内

開室日 追分 火～日曜日 9時～17時
 まなびお 月～日曜日 9時～21時
 ☎ まなびお:29-7775、追分:25-2565

新しい本がたくさん入りました！まなびお・追分どちらの図書室の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

まなびお図書室

- 〈一般書〉北海道旅事典(昭文社編集部)／ちょっとお疲れのあなたが読むだけでフワッと癒される本(樺沢 紫苑)／私たちの世代は(瀬尾 まいこ)／リラの花咲くけものみち(藤岡 陽子)／霜月記(砂原 浩太朗)
- 〈児童書〉ユキエとくま(アリーチェ・ケツレル)／中村哲 荒地を緑に変え、命の水で人びとを救った医師(二尋 鴎彦)／よるのあいだに…みんなをささえるはたらくひとたち(ポリィ・フェイバー)／はだしであるく(村中 李衣)／それで、いい！(磯 みゆき)

追分公民館

- 〈一般書〉僕の仕事は、世界を平和にすること。(川崎 哲)／学芸員の観察日記 ミュージアムの裏側(滝登 くらげ)／ひろしま(石内 都)／腹を空かせた勇者ども(金原 ひとみ)／世界でいちばん透きとおった物語(杉井 光)
- 〈児童書〉びっくりモンスター大図鑑 知識の泉へようこそ！(久 正人)／クマが出た！助けてベアドッグ クマ対策犬のすごい能力(太田 京子)／神さまがくれた漢字たち(白川 静)／かかっているよ(新井 洋行)／おさかないちば(加藤 休ミ)

今月の展示テーマ

『私のペースで
 しおりは進む』

10月27日からは読書週間。「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、戦後まもない1947年に出版社、書店、公共図書館、マスコミも加わって、第1回読書週間が開催されました。今月は図書室(館)の本の分類を紹介しながら、おすすめの本を一般書から児童書までご紹介したいと思います。テーマは今年の読書週間の標語です。

◆ 読み聞かせ 11月日程 ◆	日時	会場
読み聞かせ ありんこ会	11月11日(土)10時30分～	まなびお図書室(早来学園図書室)
ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん	11月29日(水)11時～	おいわけ子ども園子育て支援センター